

2005年7月11日

各位

株式会社 ラック

総務省「次世代IPインフラ研究会」への参加および報告書の公表について
～弊社セキュリティプランニングサービス部新井悠がワーキンググループ構成員として
参加する研究会より、「情報セキュリティ政策 2005」が公表されました～

総務省では、昨年12月より「次世代IPインフラ研究会」の下に「セキュリティWG(ワーキンググループ)」を開催し、次世代のIPインフラにおける情報セキュリティ確保に向けた政策の在り方について検討されてきました。このワーキンググループに、弊社セキュリティプランニングサービス部の新井悠が参加しております旨と併せ、今般、同研究会の「第二次報告書」として「情報セキュリティ政策2005」がとりまとめられ公表されました旨、ご案内申し上げます。

この報告書では、“「ネットワーク」を通じた障害の広域化への対応”、“ネットワークに繋がる「モノ」の多様化への対応(情報家電のネットワーク接続への対応)”、“「人材」面の脆弱性の克服”といった3つの側面の脆弱性を克服することに集中的に取り組み、社会インフラとしてのインターネットの「安心・安全」を実現するための政策がとりまとめられ、公表されております。

今後総務省では、この報告書を踏まえ、所要の情報セキュリティ政策を推進してゆくとしています。

弊社は、情報セキュリティに関わるノウハウや技術力を社会への貢献に役立てるべく、今後とも活動してまいります。

「次世代IPインフラ研究会」

IT 利活用やブロードバンド回線の普及などが急速に進展する中、アクセス回線やバックボーン回線を通るトラフィックがより一層増加することが予想され、これに対応できる次世代のIPインフラ整備の在り方等について検討するため、東京大学名誉教授の齋藤忠夫氏を座長とし、2004年2月2日に設立されました。

**詳しくは総務省ホームページの、
報道資料掲載ページ(http://www.soumu.go.jp/s-news/2005/050707_2.html)をご覧ください。**

本件に関する報道関係お問い合わせ先

株式会社 ラック

管理本部 総務部 広報課 網川

TEL:03-5537-2600 FAX:03-5537-2609

E-mail :pr@lac.co.jp

以上